研究構想シート

学校名	出雲市立今市小学校
氏名	若築京子

A　研究主題

自他を認め　自ら学びとろうとする学習者の育成～ICTを使った授業改善への意識改革と挑戦～

B　研究の目的

・自分や他者を理解し、受容しながら、主体的に学ぶ児童を育成するために、児童タブレットを中心としたICTを活用した授業改善の方法を探る。
・ICTを使った授業改善をすることで、教員の授業スタイルの意識改革を図る。

C　子どもの実態

〇言われたことはきちんとやろうとする素直さ、真面目さがある。
〇学年問わず、男女の仲がよい。
〇学習や活動で友達と関わり合うことに抵抗が少ない。
〇自分の考えをもち、主張することができる。

・主体性に乏しく、自らの考えで動くことができにくい。
・判断力が弱く、他力本願なところがある。
・考えながら聞く姿勢に乏しい。
・結果を意識しすぎで、過程に目を向けることができにくい。
・自分の主張はするが、他者の考えを受容し、より深く考えたりよいものを生み出そうとしたりする意識が弱い。
・相手に伝わるように表現する力が弱い。

E　手立て・内容（研究仮説）

〇授業で児童タブレットを中心としたＩＣＴ活用を推進すれば、児童は自らの学び方を知り、主体的に学習するようになるであろう。
〇教員がICTを使った授業を構想したり提案したりする場があれば、授業改善への意識が高まり、改革が進むであろう。

F　検証方法

〇ICTに関する教員アンケート（1学期、３学期）
〇ICTに関する児童アンケート（１学期、３学期）
〇各学級での授業における児童タブレットの積極的活用（SKYMENU、Office等）
〇授業構想シートによる授業研究

G　研究計画

〇研究主題、研究構想の検討と共有
〇教員、児童アンケート作成、実施（１学期）
〇各教員における授業実践とふりかえり（１学期）
〇教員研修（夏休み、出前講座やICT支援員の活用）
〇教員同士の実践紹介
〇各教員における授業実践とふりかえり（２学期）
〇学力向上訪問指導による指導
〇教員、児童アンケート実施（３学期）
〇今年度の実践のまとめ
〇次年度に向けた方向性の確認

D　めざす子どもの姿

〇自分の考えをもち、進んで表現できる。
〇相手の思いや考えを共感したり認めたりすることができる。
〇自分や相手の状況を捉え、聞いたり教えたりするなど進んで相互の関わりをもつことができる。
〇単に結果を求めるだけでなく、試行錯誤することを大切にしてゴールに向かうことができる。
〇自ら提案したり行動したりすることができる。